



2018年5月24日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 へ り オ ス  
代 表 者 名 代表執行役社長 CEO 鍵 本 忠 尚  
(コード番号：4593 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 執行役 管理領域管掌 石 川 兼  
(TEL：03-5777-8308)

## 米国眼科研究所 (NEI) との共同研究開発契約締結に関するお知らせ

当社は、この度、米国国立眼科研究所 (National Eye Institute 以下、NEI といいます。) と、他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮 (RPE) 細胞による加齢黄斑変性治療法の開発にむけ、共同研究開発契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

NEI は、米国国立衛生研究所 (National Institutes of Health, NIH) に属する眼科分野の専門研究所であり、眼科治療の基礎及び臨床研究プログラムを進めています。(詳細は NEI のウェブサイト <http://www.nei.nih.gov> (英語) をご覧ください。)  
本共同研究開発の責任者である Dr. Kapil Bharti 率いる研究チームでは、iPS 細胞ラインの取扱い、RPE 細胞への分化誘導、さらには臨床利用に向けた RPE シート作製等を専門にしております。

当社は、日本国内におきましては、大日本住友製薬株式会社との共同開発にて、他家 iPS 細胞由来 RPE 細胞懸濁液による加齢黄斑変性の治療法開発を進めております。また、その原料となる他家 iPS 細胞は、京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) から提供を受けております。

一方、欧米での開発におきましては、先般、治験で使用することを想定した iPS 細胞マスターセルバンクの製造が完了いたしました。

そこで、本共同研究開発では、当社は他家 iPS 細胞マスターセルバンクを提供し、NEI はその iPS 細胞を用いて GMP に準拠した製造方法にて iPS 細胞由来 RPE 細胞シートを作製し、その作製された細胞製品が加齢黄斑変性の治療法として使用可能かを評価します。その結果を参考にしながら、当社は、米国における臨床試験の実施に向けた検討を進めてまいります。

### <今後の見通し>

本共同研究開発の期間は2年間を予定しており、その実施に際して、2018年12月期中に当社は NEI に対して共同研究開発費 (金額は非公表) を支払います。

当社は、事業提携の可能性など、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難な状況と考えており、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、当期の業績予想は開示しておりません。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上